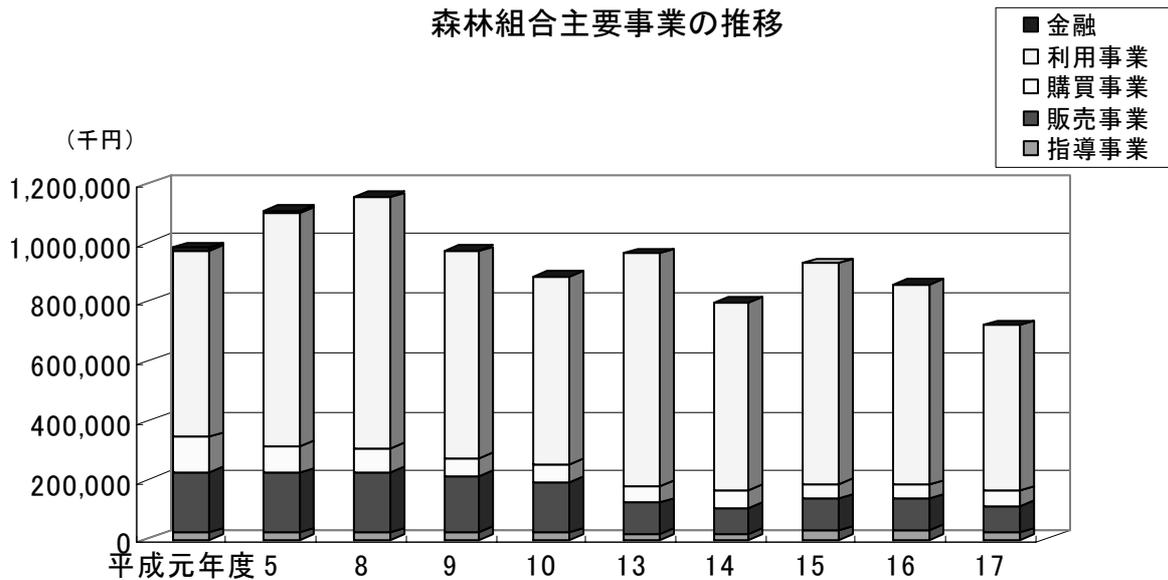
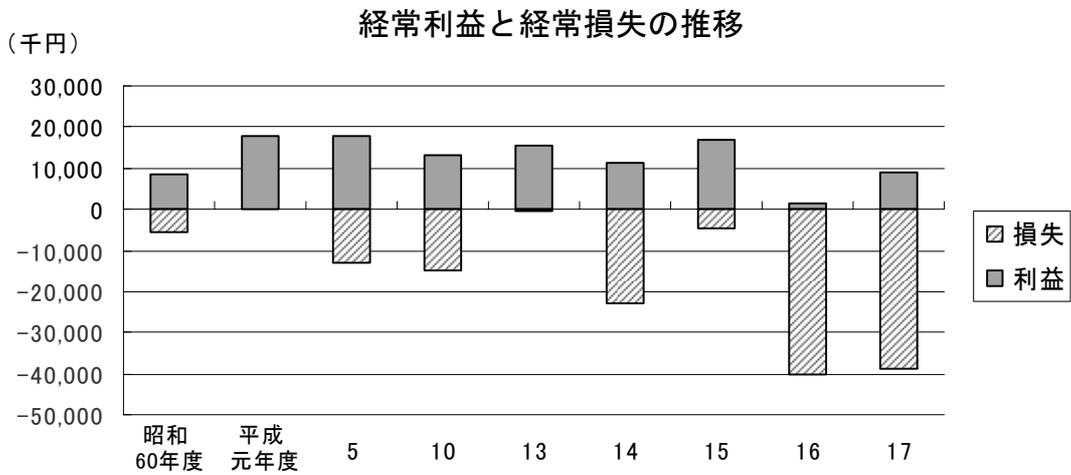


### 3. 林業経営と県営林

#### (1) 森林組合



平成17年度末の活動組合は15組合あり、組合員数16,125人、1組合平均の組合員数は1,075人であった。平成18年11月1日に、千葉市森林組合を除く14組合が合併し、千葉市森林組合が発足したため、県内の活動組合数は2組合となった。

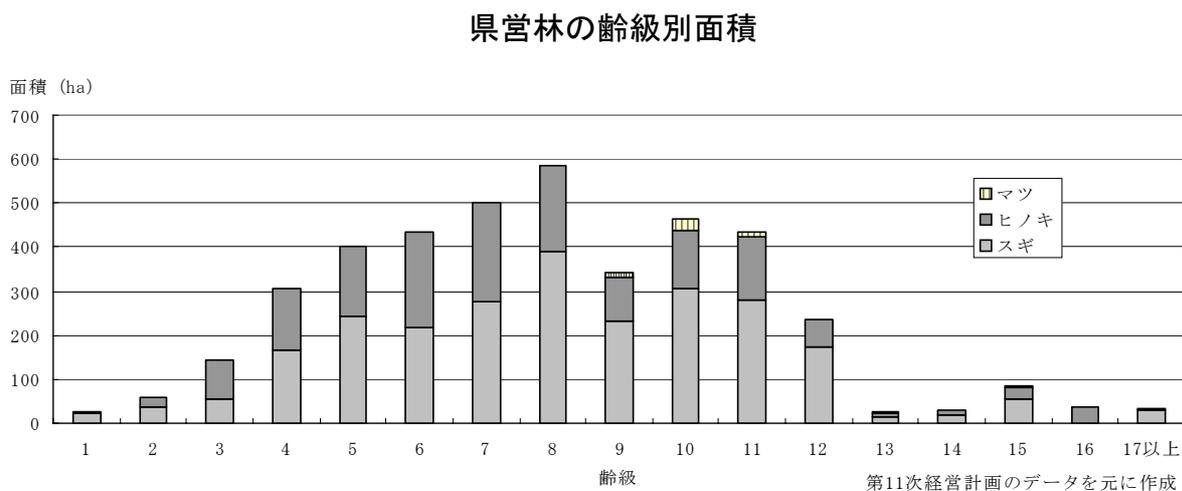
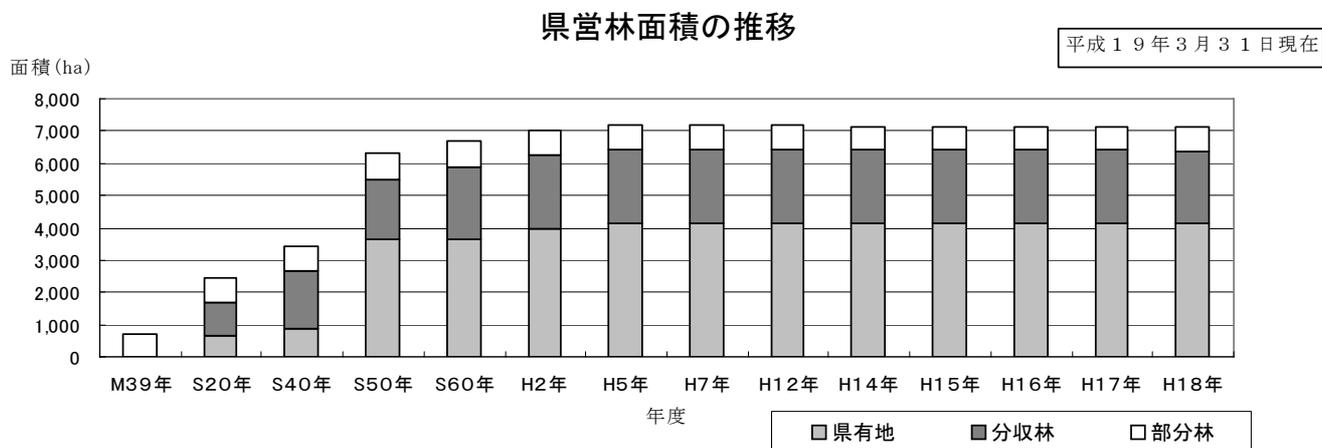
地区内の森林所有者の加入率は35%で全国平均(49%—平成13年度末)より低い。組合員所有森林面積は37,645haで、私有林面積に占める割合は29%である。また、払込済出資金額は、112,556千円(1組合平均7,504千円)である。

平成17年度事業で経常利益を計上している組合は、8組合で1組合平均1,141千円であり、前年度に比べ、組合数は2組合増加しており、平均利益額では902千円の増となっている。

一方、経常損失を計上している組合は7組合で、前年度の11組合から4組合減少した。1組合当たりの平均損失額は5,509千円と、1,877千円増加している。

## (2) 県営林

—県営林の整備をさらに推進—



県営林は、森林経営を通して、木材の安定的な供給、県土の保全、水源かん養等の森林の有する公益的機能の維持増進、地域の振興、県基本財産の造成等を行っている。大半は、県中南部に位置し、平成18年度末の面積は、7,109ha（県有林 4,158ha・分収林 2,202ha・部分林 749ha）で前年度から3ha減少したが、これは主にサーキット場開設に伴う袖ヶ浦市平川分収林の一部解除によるものである。地域別面積は、安房・夷隅地区（南部林業事務所管内）2,870ha、市原・君津地区（中部林業事務所管内）4,217ha、長生・香取地区（北部林業事務所管内）22haとなっている。

造林面積は、18年度実績で10.00ha（再造林 7.95ha）あり、保育は、349haを実施した。また、林産物については、素材 1,527m<sup>3</sup>等売り払い16,831千円の収入を得た。